

障がい者の芸術文化活動をささえるセミナーin久留米

実施報告書

作成日:2018年9月27日

福岡県障がい者芸術文化活動支援センター

実施概要・実施実績

実施概要

- **名 称** 障がい者の芸術文化活動をささえるセミナーin久留米
- **開催日程** 2018年9月21日(金)
- **開催時間** 10:00～16:45
- **開催場所** 久留米座(久留米シティプラザ内)
- **実施内容** 芸術文化活動をささえるコンサート、芸術文化活動をささえる講演会
芸術文化活動をささえるシンポジウム、芸術文化活動をささえるワークショップ
- **主 催** NPO法人らいふステージ
福岡県障がい者芸術文化活動普及支援センターSCORE(スコア)
- **協 賛** なし
- **後 援** 福岡県 久留米市教育委員会 久留米市社会福祉協議会 読売新聞社 毎日新聞
RKB毎日放送

実施実績(結果)

来場者数	189名
-------------	------

■コーナー別 来場者数

ささえるコンサートVol.1	67名
ささえる講演会	80名
ささえるシンポジウム	107名
ささえるコンサートVol.2	130名
ささえるワークショップ	122名

会場概要

会場(全体)

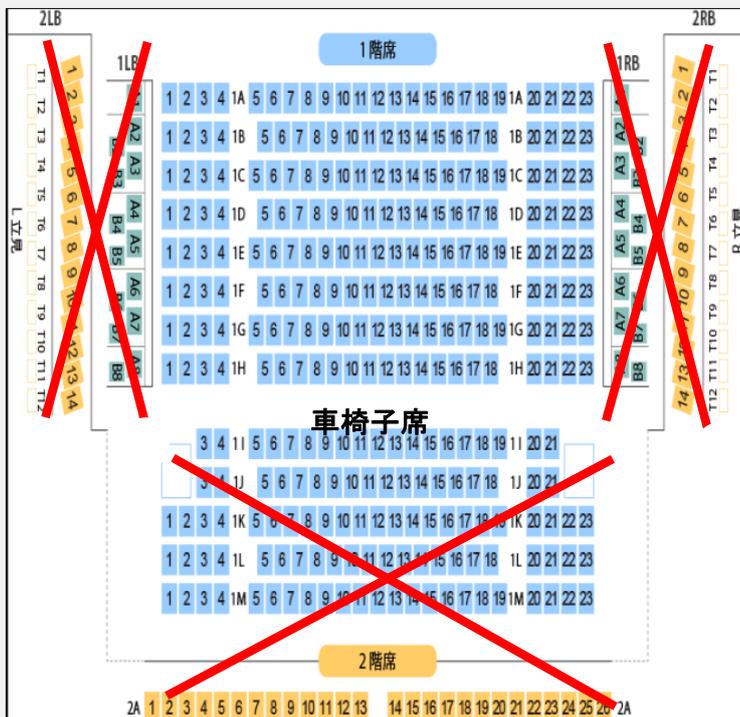


■会場 久留米座(久留米シティプラザ内)

■住所 〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門町8-1

■アクセス 西鉄久留米駅からタクシー約4分、路線バス約5分、徒歩約10分
JR久留米駅からタクシー約7分、路線バス約10分、徒歩約20分

会場(詳細)



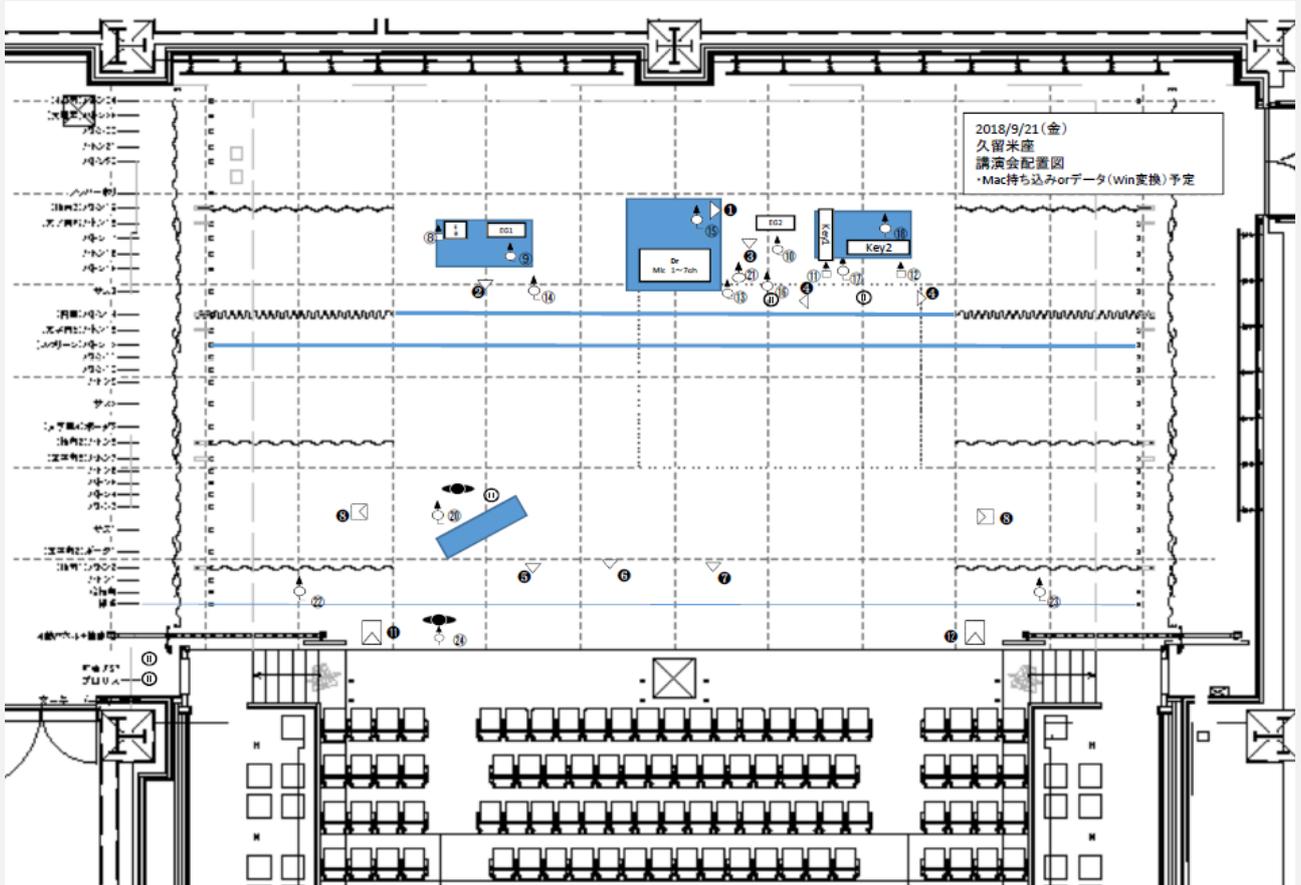
■会場 久留米座

■物販 久留米座ロビー

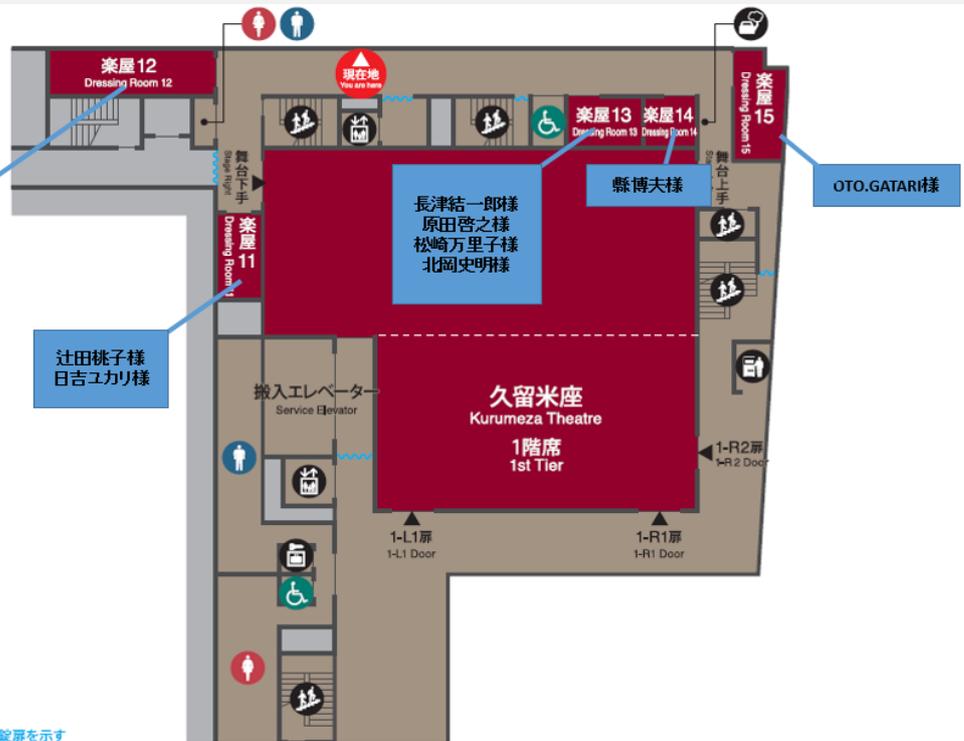
■控室 楽屋11(辻田様、日吉様)
楽屋12(Vivimos)
楽屋13(長津様、原田様、北岡様、松崎様)
楽屋14(縣様)
楽屋15(OTO.GATARI様)

会場(レイアウト)

ステージ 及び 控室



久留米座 楽屋図



記録写真



ステージプログラム

日付 時間	進行内容
10:00	開場
10:30	開演【主催者挨拶】
10:40	ささえるコンサートVol.1
11:00	舞台転換
11:10	ささえる講演会
12:00	昼食休憩 ※緞帳は上げたままシンポジウム用に転換
13:00	ささえるシンポジウム
13:50	休憩(10分)
14:45	シンポジウム終了 舞台転換
15:00	ささえるコンサートvol.2
15:40	休憩 舞台転換
15:50	ささえるワークショップ
16:30	ワークショップ終了 司会者による振り返り
16:45	終演

ステージプログラム(詳細)

主催者挨拶

- 時間 10:30~10:40
- 出演 福岡県人づくり 県民生活部 文化振興課 企画監の 縣 博夫様
NPO法人らいふステージ 副理事長 中西一貴
- 内容 縣様…障がい者芸術文化活動普及支援事業の説明
中西…来場者への謝辞、本日のスケジュール



ささえるコンサートvol.1

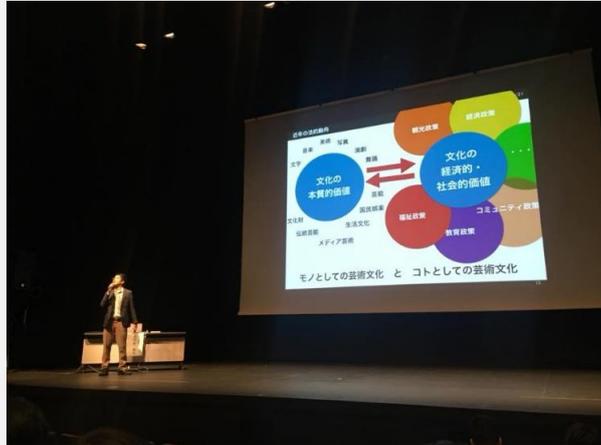
- 時間 10:40~11:00
- 出演 VIVIMOS
- 内容 VIVIMOSによるコンサート ①Don't Worry ②命の言葉 ③しあわせの歌



ステージプログラム(詳細)

ささえる講演会

- 時間 11:00~11:55
- 出演 九州大学 大学院 芸術工学研究院 助教の長津結一郎先生
- 内容 障がいとアートに関する法的な動きについて
アールブリュットとは？対人処遇による8つの逸脱
舞台芸術に関する取り組みについて(アルクアシタ、劇団夢飛行、森田かずよ氏)
”ささえる”どちらかが頑張っている関係性。ともに作り出すことが大切。



ささえるシンポジウム

- 時間 13:00~14:45
- 出演 コーディネーター 長津結一郎氏
シンポジスト 原田啓之氏、北岡史明氏、早瀬睦氏、松崎万里子氏
- 内容 先駆的な取り組みを行っている事業所の活動の紹介
支援センターに望むところについて意見交換



ステージプログラム(詳細)

ささえるコンサートvol.2

- 時間 15:00～15:45
- 出演 OTO.GATARI
- 内容 OTO.GATARIによるコンサート
Vivimosメンバー早川氏、OTO.GATARI黒川氏へのインタビュー
OTO.GATARIとVivimosによるコラボ演奏【Be Here Now】



ささえるワークショップ

- 時間 15:55～16:25
- 出演 辻田桃子氏
日吉ユカリ氏
- 内容 来場者と共にダンスのワークショップ
手話ダンスのワークショップ



販売コーナー(運営)

販売コーナー(詳細)

■販売コーナー申し送り事項

9月20日(木)

・物販コーナー設営時間

前日(9月20日 木曜日)の13時00分～18時00分の間で設営をお願いいたします。後日、13時から18時の間の何時ごろにお見えになるか、らいふステージスタッフ木寺から確認の連絡をいたします。

・集合場所

久留米座 ロビー (地下駐車場に停める際は 奥の“赤い駐車場”に停めてエレベーターを利用されると久留米座のロビーに直接行けます)

・テーブル・イス

久留米座からテーブルとイスを借りております。各ブース 長机2台 イス2脚です。

・現場の担当者

設営の時間帯(13:00～18:00)には、らいふステージスタッフの木寺【090-9591-5497】が常駐しております。ご不明な点がございましたらご質問ください。

・物販コーナーに参加する事業所等の方々

1. 九州大学 出版会(長津助教の出版物の販売)
2. studio nucca様
3. PICFA様
4. ヴィオラ(らいふステージ)
5. ふくおか県 障がい児者美術展 宣伝コーナー(福岡県 人づくり 文化振興課)

・物販コーナーの配置図

9月20日(木)に担当の木寺からお伝えいたします。

・出店料 無料です。

・解散時間 準備終了後、自由解散です。

・販売物品・貴重品の管理

前日から当日にかけて、久留米座の警備員の方の巡回は行われますが、金品等の貴重品はお持ち帰りのご協力をお願いいたします。

・地下駐車場について

有料です。ただし、同乗者に障がい者手帳をお持ちのかたがいらっしゃる場合は無料となります。手帳のコピーは認められておりません。原本が必要となります。



販売コーナー(運営)

販売コーナー(詳細)

■販売コーナー申し送り事項

9月21日(金)

・集合時間

9:30(遅れるときは、販売担当の【木寺】にご連絡ください)

・集合場所

久留米座 ロビー (地下駐車場に停める際は“赤い駐車場”に停めてエレベーターを利用されると久留米座のロビーに直接行けます)

・販売開始時間

10:00(開場:10時00分 開演:10時30分 開場と同時に販売を開始していただいて構いません)

・昼食について

各自でご準備をお願いいたします。

・昼食場所

久留米座のホール内は飲食禁止です。ロビーでお召し上がりください。

・タイムスケジュール

別紙:当日のスケジュールをご参照ください。

・休憩時間

それぞれのブースで適宜、休憩をお取りください。

・片付け

終演は16:45です。終演後、最後のお客様が退出されるまでは片付けをご遠慮くだされば幸いです。

・ホールレンタル時間

9月21日(金)は22:00までホールレンタルを行っております。22時までに片付けが終了するようご協力をお願いいたします。

・解散時間

片付け終了後、自由解散です。



販売コーナー(記録写真)

記録写真



SCORE 相談コーナー



studio nucca



福岡県障がい児者美術展紹介コーナー



ヴィオラ



PICFA



九州大学 出版会(長津助教 出版物販売コーナー)

チラシ・パンフレット

オモテ面



Arts and Welfare

2018.9.21(Fri)
10:30-16:45 (開場 10:00)
久留米座 (久留米シティプラザ内)
福岡県久留米市六ツ門町8-1

参加費:1,000円
※席間食費200円 ※要予約申し込み

障がいのあるなしに関わらず芸術活動に熱心な人、障がいのあるなしに関わらず芸術活動に関わろうとしている人、障がいのある人の芸術活動を支援している人。

本セミナーは「音楽のまち 久留米」で障がいのある方によるアートやステージパフォーマンスなどの芸術文化活動について総合的に学ぶ研修会となっています。シンポジウムでは先駆的に芸術活動に取り組んでいる事業所の活動を知ったりステージでのパフォーマンスを体験したりすることで芸術文化活動を通じた支援方法を1日とります。

主催 福岡県障がい者芸術文化活動普及支援センター SCORE (スコア) NPO法人らいふステージ

後援 福岡県 久留米市教育委員会 久留米市社会福祉協議会 院光新聞社 毎日新聞 RKB毎日放送



ウラ面



セミナーの お申し込み・お問い合わせ

下記①～④を記載のうえ、電話・メール・FAXのいずれかよりお申し込みください。

①お名前 (フリガナ) ②お電話番号 ③ご所属 ④車いす、手話通訳など鑑賞サポートの有り無し

※参加費はセミナー当日、窓口にてお支払いください。

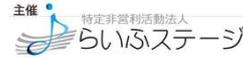
TEL 0942-72-0667 (らいふステージ小郡)

FAX 0942-41-2155

MAIL score@lifestage.jp.com

WEB http://score-fk.jp

①お名前 (フリガナ)	②お電話番号
③ご所属	④車いす、手話通訳など鑑賞サポートの有り無し <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し



中面



障がい者の芸術文化活動をささえるセミナー in 久留米
タイムスケジュール
総合会 ライオ・E・ランドリー
芸術文化活動をささえるシンポジウム

タイムスケジュール

- 10:00 開場
- 10:30 主催者あいさつ
- 10:40 障がい者芸術文化活動をささえるコンサート Vol.1
Vivimos
- 11:10 障がい者芸術文化活動をささえるシンポジウム
長津 結一郎氏 九州大学 大学院 芸術工学研究 助教
- 12:00 昼食休憩
- 13:00 障がい者芸術文化活動をささえるワークショップ
コーディネーター 長津 結一郎氏
シンポジスト 原田 啓之氏 監査法人 清明会 「PICFA (ピクファ)」(障害福祉サービス事業所 日勤) 施設長
北岡 史明氏 株式会社 LikeLab おとな支援チーム マネージャー
早瀬 登 氏 NPO法人らいふステージ 就労支援事業所 Thumb&Spill Vivimos キタリスト
松崎 万里子 氏 社会福祉法人福岡コロコロ 障害福祉サービス事業所 ながい工 和太鼓講師
- 15:00 障がい者芸術文化活動をささえるワークショップ
OTO.GATARI (和太鼓) OTO.GATARI × Vivimos (ジョイント)
- 15:50 障がい者芸術文化活動をささえるワークショップ
講師 辻田 桃子 氏 日音 コカリ 氏
- 16:45 終演

芸術文化活動をささえるシンポジウム

シンポジスト

原田 啓之
監査法人 清明会 (PICFA (ピクファ))
(障害福祉サービス事業所 日勤) 施設長
平成 29 年 7 月にみやま競馬場内
内に創作活動を行うことを仕事に
する。監査士 (PICFA) を立ち上げる。
同年 11 月には高齢者のリハビリ
のおとな支援チーム マネージャーとして就労継続支援 A 型 Kitaku、就労継続
支援 B 型 studio macca、studio link、自立支援 (定住型) LikeLab の 4 事
業の運営管理を行っている。studio macca で「アート」を活用して子どもら
しい自己表現を尊重し、作る喜びを得ること、またそれを繋がる高年齢へ
展開し、地域とつながり生き甲斐に感じられるよう取り組むを目的として研究中。

北岡 史明
株式会社 LikeLab
おとな支援チーム マネージャー
障がい者福祉の現場にて 26 年の経
験を持ち、多種多様な手法を用いて
社会的価値を創出してきた。今年での
経験をもとに現在株式会社 LikeLab
の代表取締役として活動中。

早瀬 登
NPO 法人らいふステージ
就労支援事業所 Thumb&Spill
Vivimos キタリスト
音楽を仕事に、活動の中心にパ
ンク文化を掲げ、ライブに参加。
"BASSINANT" こと今宵カガクコウ
電コズベラスのリーダーとして活動を行う。以降も東京
でセッションミュージシャンとして活動を開始。現在らいふステー
ジで活動。NPO 法人らいふステージのバンド Vivimos に在籍し音楽活
動を行っている。

松崎 万里子
社会福祉法人福岡コロコロ
障害福祉サービス事業所
ながい工 和太鼓講師
長年、福岡市にある本多楽
堂に在籍し、和太鼓を習得。和太鼓を受け、
舞台経験も積んだのち独立。
また女性が太鼓を打つことが少なかったころからの女性和太鼓の普及が
目的である。社会福祉法人福岡コロコロ 障害福祉サービス事業所の
みはぎで活動するが、これまで、おとな・若者のいる方たちなど幅
広い方々を対象とした和太鼓講師としても活躍している。

芸術文化活動をささえるワークショップ

ワークショップ

辻田 桃子
studio PEACH 代表
講師 PEACH、平成 23 年 6 月 1
日久留米大専まででこれまで
のダンス経験を活かして studio
PEACH を立ち上げる。ダンス
インストラクターとしての活動
を始めるが PEACHbody Make
でも活動している。平成 29 年
2 月 16 日障がいのあるなしに関わらず習得が、一人一人のダンス
イベントとして開催された PRISM〜ノーマライゼーション〜に参加。ノ
ーマライゼーションテーマにダンスを披露し観客を魅了した。

日音 コカリ
studio PEACH
ダンスインストラクター
studio PEACH の代表である田
桃子氏の奥の母親。保育士として
の経験のたから studio
PEACH のダンスインストラク
ターとしても活躍している。また、
心臓病のコンサーの経験も取り入れ、子育てに関わりながらの研
究開発もおこなっている。今回のセミナーのダンスワークショップでは
進行・指導を担当。リズムの取り方や振り付けの基本についてク
イズを行う予定。

芸術文化活動をささえるコンサート

出演者紹介

Vivimos
(ワイビモス)
NPO 法人らいふステージに所
属している障がいのあるメン
バー (四肢・身体・精神) とそ
のスタッフで構成されたバンド
バンド。らいふステージに立ち
上げた。現在はらいふステージ
は期外を問わず 40ヶ所で開催。障がいのあるなしに関わらず自分
を表現する機会が豊富にあり、芸術文化活動の活性化のため地
域に貢献している。

OTO.GATARI
(オトガタリ)
和太鼓の演奏や指揮を主体に文化の
伝達・進化を目指し活動する「創作
和太鼓隊」。福岡県はもとより全
国、海外へと活動圏を拡大してい
る。演奏スタイルは「伝統和太鼓」が
ベースとなっており、日本の「和」を大切にしながらも、ストリートダンス
や様々な楽器との共演を行うことで新しいスタイルの音楽を作り続けてい
る。平成 29 年 9 月には、Vivimos ノーマライゼーションコンサートツアー
が久留米に開催。和と音楽を通してロックアップン・(Be Here Now) を
Vivimos と共に演奏し観客から絶賛を受けた。

芸術文化活動をささえる講演会

講演会

長津 結一郎 九州大学 大学院 芸術工学研究 助教

専門はアートマネジメント、芸術と社会包摂。博士 (学術・東京藝術大学)。異なる立場や背景をもつ人々が
どのように協働することができるのか、ワークショップの開発や評価の場づくりを題材として研究。実践の双
方からアプローチを積み重ねる。著書に「舞台の上の障害者：境界から生まれる表現」(九州大学出版会、平
成 30 年) など。これまで関わったプロジェクトに「東京芸術院研究」など。平成 28 年より現職。

同時開催 ロビーイベント

同時開催 ロビーイベント

芸術文化活動普及支援 相談コーナー
就労支援事業所による 物販コーナー
福岡県障がい者美術展 紹介コーナー

制作物(ホームページ掲載・Facebookページ)

ホームページ及びFacebookページ

SCORE ホームページ

Support Center On Real Equality 福岡県障がい者芸術文化活動普及支援センター

HOME ABOUT SCORE MEMBER CONTACT

障がい者の芸術文化活動をささえるセミナー in 久留米を開催します!!

久留米市にある久留米座で
【障がい者の芸術文化活動をささえるセミナーin久留米】を開催します。

豪華なゲストによるシンポジウム、ステージでのパフォーマンスなど芸術活動を通じた支援方法を知る1日となります。

日程：2018年9月21日(金)
10:30 - 16:45(開場 10:00)
場所：久留米座(久留米シティプラザ内)
福岡県久留米市六ツ門町8-1

参加費：1,000円 ※参加費は会場窓口でお支払いください。
定員200名 ※要事前申し込み

お申し込み：
下記①-④を記載のうえ、電話・FAX・メールのいずれかで申し込みください。
(こちらのホームページの【CONTACT】からもご応募可能です)
皆さまのご来場お待ちしております。

①お名前(フリガナ) ②お電話番号 ③ご所属
④車いす、手話通訳など職員サポートの有無

Facebookページ(特設ページ)

障がい者の芸術文化活動をささえるセミナー in 久留米

2018年9月21日 10:30~16:45

久留米座

参加者6人・興味あり23人

中西 隆二さん、古川 徹生さん、他友達2人が参加しました。

芸術文化活動を支えるコンサート・講演会・シンポジウムなど

SCORE Facebook(キャンペーン)

Score (福岡県障がい者芸術文化活動普及支援センター)
作成者: Kazutaka Nakanishi [?] · 9月15日 9:32 · 🌐

2度目の登場! 佐久間純平さん。
様々な楽器を弾きこなす
天才肌のマルチプレイヤー。... もっと見る

事前広報先

県・市町村

福岡県 障害福祉課、文化振興課、久留米市 教育委員会、久留米市 社会福祉協議会、小郡市障がい福祉課、神崎市社会福祉協議会、春日市役所障がい福祉課、県視聴覚協会、東野校区公民館、佐賀県庁 森林整備課、筑紫野市、鳥栖三養基地区自立支援協議会、小郡人権・同和教育課、らいふステージ小郡 地域連絡協議会、基山社協、アステラス、基山町 福祉課 産業振興課、基山老人いこいの家

障害福祉サービス事業所

NPO法人まる（九州ブロック広域センター）、社会福祉法人はる（佐賀県障がい者芸術文化活動普及支援センター）ハッピーハッピー、さるびあ、PICFA、ライクラボ、ちくぜん、ロード、さぼねっと小郡、ぱれっと、緑生館、キャッチ、佐賀春光園、希望の家、太陽の郷、長光園、とさくさん、希望の丘、小郡学園、たけの保育園、こでまり保育園、北九州障がい者芸術文化応援センター、明日へ向かって、ラスカルサポート、フリーダム、みんなのかえるランド、アカルカ福祉会、ココチ

学校

九州大学、西九州大学、大和特別支援学校、大宰府特別支援学校、久留米商業高校、平岡学園、小郡特別支援学校、福岡特別支援学校、中原特別支援学校、久留米特別支援学校、筑後特別支援学校、田主丸特別支援学校、久留米聾学校、東野小学校、大原小学校、大原中学校、九州大谷短期大学、御井高校、田代中学校、八女高校、鳥栖商業バレー部

施設

久留米座、石橋文化センター、ももち文化センター

病院

光風会病院、早津江病院、神野病院、鮫島病院、おうりん病院

企業

佐賀トヨペット、小さな菜園、タイラベストビート、アトリエスカイ



鳥栖三養基地区自立支援協議会



那珂川町自立支援協議会(相談支援部会)

事前広報先 及び 掲載実績

新聞

読売新聞、毎日新聞、朝日新聞、西日本新聞(西日本新聞のみ取材あり)

テレビ

NHK福岡、テレビ西日本、RKB毎日放送、九州朝日放送、FBS福岡放送、TVQ(いずれも取材なし)

ラジオ

Dreams FM、えびすFM(えびすFM ライオントリーのチョイスワールドで紹介あり)

西日本新聞 平成30年9月14日(金曜日)



来場者アンケート集計

回答数：94名

1. 本日は何人でご参加頂きましたか？

2. 所属

らいふステージ利用者の保護者又は関係者	13
らいふステージ職員関係者	20
行政職員	10
他施設の利用者又はその保護者・関係者	14
学校勤務者(特別支援学校含む)	6
学生(小・中・高・大・専)	0
一般参加 久留米在住	14
一般参加 その他在住	17

3. 本日のプログラムでもう一度学びたいと思われた内容は？(複数回答可)

芸術文化活動をささえる講演会	26
芸術文化活動をささえる講演会シンポジウム	25
芸術文化活動をささえるコンサート	29
芸術文化活動をささえるワークショップ	25

(感想)

- ・コンサートありがとうございました。楽しみました。
- ・いつもアートを言葉で語るむずかしさに悩まされる。
- ・コンサートが聞いて良かった。生命のパワーを感じました。
- ・訪看でかかわらせて頂いている利用者様が、キラキラかがやいて歌っている姿が見れてよかったです
- ・当施設の利用者様の将来の進路の一つとして見させていただきました
- ・とてもものびのびとして良かったと思います。
- ・とてもよかったです。シンバルやたいこのたたきかたは、とてもよかったです。また行きたいです。
- ・とてもいいステージでした
- ・生きることによって、よさをしてよかったです。
- ・楽しかったです。
- ・このような講演会は始めて参加しました。久留米の人たちに届いていない。
- ・複数の施設の方の話を比較して聞くことができ、興味深かったです。
- ・「障がいを抱えている方がステージに立つからすばらしい」のではなく、本当の意味での多様性にチャレンジされている姿勢に感銘を受けました。
- ・他の事業所の活動について知る機会があまりないので勉強になりました。
- ・カッコ良かった!! ステージ衣装もステキオシャレでした。
- ・長津先生のお話とても良かったです。
- ・Vivimosの演奏、和太鼓の演奏とても感動しました。Vivimosまた上手になっていますね。これからも機会があれば聴きたいです。応援しています!!
- ・久しぶりにVivimosの演奏を聞きました。とてもよかったです

4. 毎日の支援の中で、障がい者芸術文化活動についてお悩み事・お困り事がありましたらご記入ください。

- ・まだまだ参加の門の狭さを感じます。
- ・地域活動支援センターでの活動の内容が、工賃をもらえる作業のみ。
- ・芸術活動に至ることすらできていない現状があります。芸術文化活動に参加したいと希望されていらっしゃる方が、どこにどう参加すれば良いかお困りという場面に遭遇したことがあります。今日のようなセミナーのような取り組みがあると、つながりが広がるのでとてもありがたいです。

来場者アンケート集計

5. このセミナーへのご意見、ご感想のご記入をお願いします。

- ・時間的にも、内容的にも充実した内容だったと思います。
- ・すごくVivimosに感動しました。今後ももっと続けてほしいです。
- ・午後から、他の行事が入っており、途中退出申し訳ありませんでした。
- ・人生が楽しい時もあるけど、つらいことがあってもしあわせになれる気がします。
- ・再度ひらいてほしい。
- ・盛りだくさんな内容で、とても充実しておりました。このような取り組みをして頂き本当にありがとうございます。芸術文化活動とのつながりがなかったのですが、このセミナー少しずつつながっていったらと思っています。最後の、OTOGATARIさんとVivimosさんとのステージは特に最高でした。
- ・芸術が生きがいであり、仕事であり、という現状が増えていけばいいなと思いました。
- ・今日はとても有意義な一日をありがとうございました。
- ・オトガタリとヴィヴィモスとの演奏が大変良かった。
- ・とても良い内容だったと思います。自分も音楽をやっていたのでとても共感しました。また音楽に関する内容を聴いてみたいです。

考察

セミナーの内容については(アンケートの文面から見ると)好評価をいただくことができています。当日の相談ブースでも、障害者支援の分野の研修会の中でも今回のようなテーマのセミナーが今までなかなか無かったため今後さらに広がっていくことを期待したいという意見があったり、長津助教の講演会やシンポジウムでの各事業所の活動報告の続きが聞きたいという意見もいただいた。また、全プログラムが終わった後、参加された方が「とりあえず来てみたけどもとても有意義な内容だった」と口々にロビーで話をされていた。

しかしながら「とりあえず来てみたけども」という言葉に代表されるように、障がいのある方の芸術文化活動についての意識は、まだまだ一握りの人達にしか育まれていない印象がある。実際、今回のセミナーについても、相当箇所広報に回ったが、当事者以外で興味を持って参加された方は当初目標(約200名を目標としていた)の1/2程度という結果だった。また、会場自体が399名収容できるホールだったため実数と見た目に差も感じられた。開催日を平日としたことやセミナーの内容を詰め込み過ぎたため、結果、支援者向けなのか当事者向けなのか、対象者の絞り込みが曖昧となり、集客に向けた広報先の選定がはっきりとしなかったことも原因であると思われる。

ただ、支援センターの認知度の向上も含め、地域の方々の障がい者芸術文化活動に対する興味、好奇心を向上させるためには、今後も定期的に同じようなイベントを開催し、実際に参加していただくことが肝要であると考えます。参加者の1/3相当は当事者で軽度の方から支援が必要な方まで参加されており、当事者の方々は講演・シンポジウムというプログラムについて熱心に聴き入っておられたのが印象的だった。これは当事者の方々が少なからず芸術文化活動に興味を持っておられるということを示唆しており、ゆえにその興味を現実の活動に繋げる支援者の育成が急務であると解釈できると考える。支援者育成という点では、少数でも熱意のある支援者を対象とした、もっとコアな研修会を実施したり、九州障害者アートサポートセンター等と連携することにより芸術文化活動に取り組もうとする支援者の裾野を広げていくことも今後検討すべき手法かもしれない。

今回行った鑑賞支援は、車イス席の設置、パニックとなられたかたのための1階後方の席の活用、救護室の設置、介護に長けたスタッフを会場係として常時配置する等の対策を行った。UDトークも用意はしていたが、聴覚に障がいのある方の出席がなかったため会場では使用しなかった。ただ、準備はしていたので、例えばロビーにUDトークを実際に体験できるブースを配置してみるのも良かったかもしれない。いずれにせよ、既存のホールで行える鑑賞支援を実践することで、今後、同様の相談があったときに生きた回答が行えるよう継続して取り組みたい。

”ささえる”という言葉に冠したセミナーだったが、(次ページへ続く)

来場者アンケート集計

(前ページのつづき)健常者・障がい者といわれる方々のどちらか一方が、頑なに支えているような印象を与えるタイトルとなっていた。お互いがお互いに共に支え合うことが大切であると思う。この事業は作品を作って終わり、イベントを運営して完結ではなく、そのプロセスを皆で共に作り出し、そのプロセスが未来の新たな”価値観”の創造に繋がらなければならない。引き続き、障害者芸術文化活動が普及できるように関連する方々と連携して課題解決に当たりたい。

まとめ

来場者の感想は概ね良好。運営としては課題も残るが、さらに障がい者芸術文化活動が普及できるように今回の課題を改善しながら活動を続けていく。

今後の支援センターの動き

1. ネットワークの構築

県内の障がい福祉担当、自立支援協議会への訪問、障がい者芸術文化活動に関心が高い事業所への訪問、アーティストの発掘。

2. 情報収集及び発信

ネットワークを広げる中で得られた情報をSCOREホームページやFacebook等を通じて発信。

3. 支援者育成

当支援センターが主催する12月、3月のイベントの実施、ふくおか県民文化祭・九州障害者アートサポートセンターとの連携。大分障文祭の広報サポート。

→芸術文化活動に興味関心のある支援者の増を目指す。

